

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042-769-8263
担当部課名	土木部	道路整備	課	用地
事務事業名	都市計画道路氷川小山線用地購入事業		事業コード	32120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます。第2章	事業開始年度
基本施策名	第1節	骨格幹線道路網の整備 第1節	13年度
施策名	第2施策	市内幹線道路の整備 第2施策	

2 実施根拠及び関連法令等

都市計画法 道路法
-----------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
当該事業は、交通の円滑な流れ及び歩行者の安全性の確保を図るため、道路幅員を拡幅し、歩道の整備を含む道路改良を実施するため用地取得したものである。また、今後市道すすきの氷川のクランク状に横断する横浜線との踏み切りを解消するためさらに事業の遂行を図る。		歩行者 通行車	
		対象数	不特定多数
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
用地取得面積 504.85㎡		市内の拠点間等を有機的に結ぶ幹線道路のネットワークを構築するため、都市計画道路等の計画的、重点的な整備を進める。	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名(都) 氷川小山線用地購入事業	
		計画年次 13年度～ 年度	
		用地取得面積 504.85㎡	

4 評価指標

指標名	取得率		
指標式	取得予定面積 / 取得面積 × 100		
指標設定の意図	道路用地取得状況把握		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標		0	a 100	b 100	
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額	0	263,254	263,254	
	人員・時間数		1名	1名	
	人件費		8,420	8,420	
	その他経費				
	合計	0	271,674	271,674	0
	特定財源	0	122,100	122,100	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	平成13年度で(都)氷川小山線の用地取得がすべて終了したことによる。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	交通量の増大に伴う交通安全施設(歩道)等の整備は、時代の要請に対応したものであること。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	土地の購入については、用地取得価格等評価委員会の評価により購入したものであること。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市道として認定されているとともに都市計画決定されており、事業の代替性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	当該道路の改良工事は、平成14年度の予定であり、歩道を含む道路整備完了後、市民の満足が得られると考えている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	当該事業は、課題となっている横浜線とのクランク状に交差する踏み切りの改良事業に必要な用地取得である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 用地取得に係る成果向上の余地はない。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 用地費、補償費とも制度上決定しておりコスト改善の余地はない。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	県下の自治体も、不動産評価を基準とした用地価格、県用地対策連絡協議会を中心とした補償価格により、用地取得事業をすすめており、類似している。
今後の進め方		説明	(都)氷川小山線用地として必要な用地についてすべて取得した。
<input type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input checked="" type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--